

特集 「令和7年度第94回 全国民生委員児童委員大会北海道大会」開催報告

インフォメーション

秋の褒章・叙勲 7

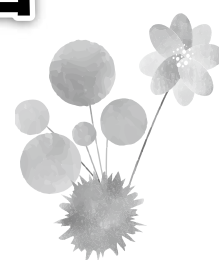
新年のごあいさつ 8

エッセイ:ひとをつなぐ

「母と子と共にありたい」 8



「令和7年度第94回 全国民生委員児童委員大会 北海道大会」開催報告



第1日 式典

(敬称略・役職は当時のもの)

■ 式典プログラム

○ オープニング

アイヌ古式舞踊

「千歳アイヌ文化伝承保存会」

YOSAKOIソーラン演舞

「平岸天神ソーラン踊り保存会」

○ 開会あいさつ

北海道民生委員児童委員連盟

会長 佐川 徹

○ 民生委員児童委員信条朗読

札幌市民生委員児童委員協議会

会長 紙谷 京子

○ 民生委員・児童委員物語者への黙祷

○ 式辞

全国民生委員児童委員連合会

会長 得能 金市

○ 主催者あいさつ

厚生労働省社会・援護局長

鹿沼 均

こども家庭庁成育局長

中村 英正

全国社会福祉協議会

会長 村木 厚子

北海道知事

鈴木 直道

札幌市長

秋元 克広

○ 登壇者紹介

北海道社会福祉協議会

会長 塚本 泰司



開会あいさつ 北海道民生委員児童委員連盟 佐川会長

オープニング



千歳アイヌ文化伝承保存会



平岸天神ソーラン踊り保存会



民生委員の歌斉唱



抛金贈呈（謝辞）



優良民生委員児童委員協議会表彰



アトラクション 札幌国際情報高校吹奏楽部



永年勤続民生委員・児童委員表彰



■ 特別講義「なぜ人と人は支え合うのか」

ノンフィクションライター 渡辺 一史 氏

2003年に出版されたデビュー作の『こんな夜更けにバナナかよ』が、15年後の2018年に大泉洋さんの主演で映画化され、自分としてはタナボタという思いでした。映画は「愛しき実話」というサブタイトルで公開されましたが、原作とはかなり違います。

筋ジストロフィーという難病を抱えた鹿野靖明さんと介助ボランティアとの交流のお話が、日々の皆さんの民生委員児童委員活動と共通点があればいいと思います。

そもそも、「人助け」や「ボランティア」、「人を支援する」という行為は、うまくいかないことだらけです。支援しようという相手から批判されたり、悪口を言われたり、裏切られたり、一見、「恩を仇で返される」ような行為を受けることも少なくありません。

しかし、「うまくいかない」ということの中に、人を支援することや人間関係の本質があり、その意義が隠れているのです。「うまくいかない」というプロセスをネガティブに捉えるのではなく、それまでの既成の価値観や自分の価値観、組織が成長するきっかけと捉えることがとても大事で、お互いのズレや食い違いをどうすり合わせ、信頼関係を築いていくか。そこにドラマがあり、お互いの気づきや成長のきっかけがあるのではないのでしょうか。

渡辺一史氏は、このように語り、講義を進めました。講義内容の要旨は、全国民生委員児童委員連合会（以下、「全民児連」）が発行する「民生委員・児童委員のひろば」に掲載される予定ですのでご覧ください。



鹿野 靖明（しかの やすあき）氏 プロフィール

- ・1959年（昭和3年）生まれ
- ・1983年（昭和58年）より札幌いちご会のメンバーとして活動
- ・同年、23歳のとき、それまでの障がい者施設を退所し、札幌市内のアパートで「自立生活」をスタート
- ・自らボランティアを募集し、自ら介助者を育てながら2002年（平成14年）に42歳で亡くなるまで自立生活を続けた。

札幌市社会福祉協議会

会長 梶井 祥子

○全国民生委員児童委員連合会
会長表彰

優良民生委員児童委員協議会
表彰

代表 北海道士別市民生委員
児童委員協議会

会長 植西 信雄

・永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰
245名

代表 札幌市手稲区新発寒地

区民生委員児童委員協議会

会長 有江 裕子

・永年勤続単位民生委員児童委員協議会役員表彰
196名

代表 秋田県仙北市角館町民生児童委員協議会

会長 桃園 豊弘

・民生委員・児童委員功労者表彰
4,030名

代表 札幌市西区八軒中央地

区民生委員児童委員協議会

会長 阿部 信男

・永年勤続民生委員・児童委員表彰
3,192名

代表 北海道島牧村民生委員協議会
瀬戸川裕香

○特別講義

「なぜ人と人は支え合うのか」

ノンフィクションライター

渡辺 一史

大会宣言

我が国では、今後さらに急速な人口減少や少子高齢化が本格化していきま
す。地域では、単身世帯の増加や地域のつながりの希薄化などを背景として、
複雑化・複合化する地域生活課題への対応を図るため、地域共生社会の実現
に取り組んでいくことが重要な課題とされています。そのために、地域住民
の身近な相談相手であり、支援へのつなぎ役である私たち民生委員・児童委
員の役割は一層期待されるところとなっています。そのようななか、本年12
月の一斉改選では、多くの新任委員を迎えます。民生委員・児童委員のなり
てを確保し、支援力を高めていくためには、地域特性に応じて活動を継続で
きる環境づくりを図ることが急務です。

また、近年全国各地で災害が頻発し、激甚化しています。本年5月、被災
者に対する福祉的支援の充実が災害対策基本法等に明記されたところであ
り、災害に備え、地域住民と信頼関係をもとに、平時から関係機関との連携
を強化し、災害時の対応や役割分担等について確認しておくことが必要です。

本日、ここ北海道において、第94回全国民生委員児童委員大会の開催にあ
たり、2年後の民生委員制度創設110周年に向けて、私たちはともに生きる
豊かな地域社会づくりに取り組む決意を新たにし、次のとおり宣言します。

- 一、ともに暮らす地域住民が孤立することのないよう、日々の見守りや相談
支援活動を重ねるとともに、関係機関とさらなる連携を図り、地域共生
社会づくりに取り組みます
- 一、わが国の未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、子ど
もの権利と育ちを守り、子育て家庭が安心して暮らすことができる地域
社会づくりに取り組みます
- 一、全国の災害被災地の人びとや、そこで活動する民生委員・児童委員への
支援を引き続き行くとともに、平常時から災害に備えた地域社会づくりに
取り組みます
- 一、基本的人権への理解を深めるとともに、人権啓発に関する活動へ積極的
に協力し、人権を尊重した地域社会づくりに取り組みます
- 一、広く社会に対し民生委員・児童委員制度の周知を図り、民生委員・児童
委員活動、主任児童委員活動に関する正しい理解の浸透と協力の拡大に
向け取り組みます

令和7年9月4日 第94回全国民生委員児童委員大会（於 北海道札幌市）



第2日 活動交流集会・シンポジウム

（敬称略・役職は当時のもの）

大会第2日は、5つのテーマ別活動交流集会と1つのシンポジウムを開催しました。札幌市民児協と役割分担し、道民児連で担当した3つの集会②③⑤で発表をいただきました。また、担当集会の運営幹事を道民児連副会長が担い、司会を副会長所属支部の副支部長にお務めいただきました。

■活動交流集会1

高齢者・障がい者が安心して暮らし続けることができる地域づくり（地域包括支援）

高齢者や障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、自立した生活を送ることが

できる地域づくりに向けた地方公共団体への働きかけを含め、民生委員児童委員、民児協としてどのような取り組みを進めるべきかを考えました。

〈コーディネーター〉

北星学園大学社会福祉学部社会福祉学科教授 岡田 直人
〈事例発表〉

①「独居高齢者の見守りネット

ワーク」

神奈川県茅ヶ崎市海岸地区民児協 会長 丸山 泰

②「知的障がい者とその家族との交流を通じて」

宮城県大和町民児協障害者福祉部会 部会長 八島 時彦
③「北海道警察との高齢者宅への同行訪問の取り組み」
札幌市南区藤野地区民児協 会長 星野 数夫

■活動交流集会2

子育て、子育てを応援する地域づくり

子どもが健やかに育つことができる地域をつくるために、児童委員、主任児童委員の連携のもと、子どもやその家族への支援の具体的な取り組みについて考えました。

〈コーディネーター〉

日本福祉大学社会福祉学部教授 野尻 紀恵
〈事例発表〉

①「地域とつながるほっとカフェ」

青森県青森市中央地区民児協

会長 工藤知久子
②「市の子育て支援体制と児童委員・主任児童委員の連携を通して」

委員連盟

副会長 梅田 絹子

○次期開催地あいさつ

滋賀県民生委員児童委員協議会連合会 会長 小林江里子

○民生委員の歌斉唱

民生委員の歌「花咲く郷土」

札幌市民生委員児童委員協議会

*道民児連正副会長も参加

○アトラクション

Dancing & Playing

〔札幌国際情報高校吹奏楽部〕

■大会宣言の採択

特別講義の後、なりて確保や委員活動の継続に向けた環境づくり、災害に備える取り組みを進めていくことを確認し、2年後の民生委員制度創設110周年に向けて、決意新たに大会宣言を採択しました。

○大会宣言

全国民生委員児童委員連合会

副会長 松下 明

○抛金贈呈

（抛金贈呈）全国民生委員児童委員連合会

会長 得能 金市

（目録受領）札幌市民生委員

児童委員協議会

副会長 大西 國男

（謝辞）北海道民生委員児童

富山県南砺市民児協主任児童
委員代表・理事 宇野 雪江
南砺市役所地域包括医療ケア
部福祉課

課長補佐 得能 宏美
③「旭川市内小学生（5・6年生）
『作文コンテスト』の取り組み」
旭川市民児連

副会長 猫山 房良

■活動交流集会3

生活困窮者への支援と
地域共生社会の実現

地域共生社会の実現に向け
て、生活困窮世帯への支援のあ
り方を考えました。

〈コーディネーター〉

文京学院大学人間学部人間福
祉学科

学科長・教授 中島 修

〈事例発表〉

①「『お互いさま情報交換会』
を通じて地域とつながる」民
生委員はひとりではない」

岩手県雫石町民児協高齢者部
会 部長 下川 原正之

②「安心して相談できるまちづ
くり」

香川県高松市香西地区民児協
会長 佐藤 隆男

③「『応急生活支援事業』の取
り組み」

登別市民児協

副会長 畠山 基子

■活動交流集会4

民生委員・児童委員活動の
推進および民児協機能強化に
向けて

なりて確保に向け、新任委員
や就業しながら活動する委員
ができるだけ活動を継続でき
るようするための環境整備に
ついて、民児協の具体的な実践
事例から学びました。

〈コーディネーター〉

元 高崎健康福祉大学健康福
祉学部社会福祉学科

教授 金井 敏

〈事例発表〉

①「活動しやすい環境づくり」
山形県酒田市民児連

会長 石井 靖雄

②「新任民生委員・児童委員サ
ポーター制度について」
大分県大分市民児協

会長 得丸 直子

③「LINE等を活用した委員
活動の更なる推進と地区民児
協の機能強化に向けて」

札幌市中央区南円山地区民児
協 会長 納谷 悟

協

■活動交流集会5

次なる災害に備える
民生委員・児童委員および
民児協組織としての取り組み

災害への備えとして、支援が
必要な住民との平常時からの関
わりと地域づくりにおける民生
委員児童委員に期待される役割
を考えました。

〈コーディネーター〉

一般社団法人 Welthe Design
理事長 篠原 辰二

〈事例発表〉

①「『広域避難時の民生委員・
児童委員活動』」東日本大震
災・原子力発電所事故の経験
と教訓」

福島県富岡町民児協
会長 寺島 利文

②「高齢世帯が増加する大規模
住宅開発エリアにおける防災
への取り組み事例」長寿日本
一となった『ベッドタウン』
での防災への取り組み」

川崎市麻生区民児協合同災害
委員会 委員長 川村 祐一

③「災害に備える民児協組織づ
くり」

旭川市末広東地区民児協
会長 早川 隆子

協

■シンポジウム

地域における孤独・孤立に
寄り添うセーフティネットと
民生委員・児童委員

孤独・孤立状態にある住民を
把握し、できるだけ早い段階で
関わり、必要な相談支援に繋げ
ていくために必要となる様々な
機関・団体等の連携による見守
りや支援体制づくり、取り組み
の充実に向けた方策など、孤
独・孤立に寄り添い支えていく
民生委員児童委員の役割につい
て考えました。

〈コーディネーター〉

同志社大学社会学部社会福祉
学科 教授 永田 祐
〈シンポジスト〉

①「身寄りがいてもいなくても
安心して自分らしく暮らせる
まち・豊田市」

愛知県豊田市福祉部よりそい
支援課地域共生・社会
参加担当 安藤 亨

②「つながることで生かされる
安心と地域福祉」社会福祉協
議会が取り組む居住支援と伴
走支援」

静岡県菊川市社会福祉協議会
次長 堀川 直樹

③「地域に根差して20年」

認定NPO法人権利擁護支
援・ぷらっとほーむ

理事長 富田 哲生

④「孤独・孤立に寄り添うため
に他機関や住民と連携した見
守り、つながりづくりの実践」
札幌市厚別区もみじ台地区民
児協 会長 石山 薫

■運営係員の活躍

■運営係員の配置

運営係員の協力なくして、全
国大会の成功はあり得ませんで
した。

①第1日係員 141名

○職員係員78名

（うち着ぐるみ係24名）
・道民児連・札幌市民児協・
北海道・札幌市・道社協・札
幌市社協

○民生委員児童委員係員 63名

・小樽市民児連 7名
・江別市民児連 10名
・北広島市民児連 6名

②第2日係員 111名

○職員係員 39名

・道民児連・札幌市民児協・
北海道・札幌市・道社協・札
幌市社協

○民生委員児童委員係員 72名



- ・小樽市民児協 5名
- ・江別市民児連 28名
- ・石狩市民児連 3名
- ・札幌市民児協 36名

参加者の歓送迎企画

■民生委員児童委員による 歓送迎

道内参加者の中から歓送迎ボランティア係員を募りました。会場内外の各所で横断幕や手作りウェルカムボードを手に持ち、参加者の歓送迎を行いました。

- ①第1日係員 138名
- ・上川支部 1名
- ・根室地区支部 2名
- ・岩見沢市民児協 22名

- ・江別市民児連 10名
- ・千歳市民児連 5名
- ・砂川市民児協 2名
- ・北広島市民児連 2名
- ・えりも町民児協 3名
- ・枝幸町民児協 2名
- ・羅臼町民児協 4名
- ・札幌市民児協 85名

②第2日係員

札幌市民児協の委員 151名

▼聞かれた声(成果や反省点)

○協力員として参加された委員からは、全国大会に携わり力になったことへの満足感、達成感など好意的な意見が多く聞かれた。

○1日目大会終了後、参加者の方から帰り際に笑顔で「楽しかったよ」、「ありがとう」の

お言葉をいただき、こちらも嬉しくなった。

○運営に関わってくれたボランティアスタッフ(委員)が、いきいきと笑顔で大会運営に関わってくれていた。北海道と札幌市の一体感が、全国の参加者にも伝わったのではないだろうか。

○歓送迎係員のおもてなしがとても良かった。

○天候に恵まれたが、歓送迎係員は屋外で長時間の活動となったため、体力的に大変だったとの声があった。

○当初、歓送迎係は比較的軽易な活動と想定していたが、結果的には他の係よりも大変なところがあった。

○救護室のお世話になった方の

多くが、歓送迎係員や冷房が効かない場所を受け持つ運営係員であったことから、当日の天候も想定した細やかな配慮が必要であったと思う。

○前日、座席に資料配置する作業を道民児連と札幌市民児協の職員のみで対応したため長時間の作業となった。もう少し人員が多いとスムーズだったと思う(リハーサルで居合わせた佐川会長と梅田副会長にもお手伝いいただき申し訳なかった。)

■着ぐるみによる歓送迎

北海道観光PRキャラクター「キョんちゃん」に加えて、札幌市各区のマスコットキャラクターの着ぐるみ12体も登場し、歓送迎を行いました。札幌市社会福祉協議会に実習に来ていた学生7名も汗を流して奮闘しました。



■記念撮影用パネル看板の設置

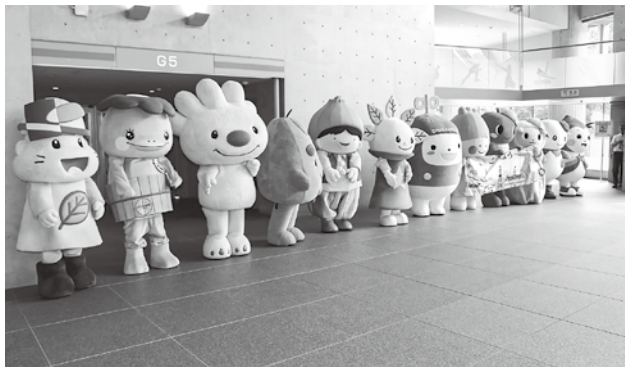
パネル看板を作成し、参加者の記念撮影に利用いただきました。

- ・第1日 北海きたえーる会場に設置
- ・第2日 札幌市コンベンションセンター会場に設置

▼聞かれた声(成果や反省点)

○記念撮影用パネル看板の設置所に苦慮したため、事前の告知や計画的なアナウンスができなかった。

○記念撮影用パネルの設置場所



に関する問い合わせを多数受けた。資料に掲示しておくなどの対応ができれば良かったと思う。2日目は、コンベンションセンターへ移動したが、それを知らされた参加者（きたえーる）ががっかりしていた。2日目会場が分かれることを考慮し、記念撮影用パネルは複数枚用意すればよかったかもしれない。

○記念撮影用の看板が参加者には大切なアイテムになっていたようである。

今回の反省を次の大会で活かしてもらえと思う。

○パネル看板だけでなく、横断幕で記念撮影ができたのでよかったという声もあった。

次回以降の大会に向けて

全体を通して

▼聞かれた声（成果や反省点）

○これまでの大会の経過を踏まえ、費用的に身の丈にあった全国大会をコンセプトに開催したが、その目標は達成できなかったのではないと思う。

○各活動交流集会の講師陣から、「非常に良い大会だった。良い経験をさせてもらった。」

とのフィードバックをいただいた。

○全国、北海道、札幌市、名鉄観光の連携が取れて、この規模でもスムーズな運営ができていたと感じる。

○道外参加者バスが65台、道内参加者バスが57台と、通常大会では過去にない貸切バスの運行台数となったが、名鉄観光の仕切りで混乱なくバスへの乗降、入退場ができていた。

○貸切バスによる道内参加者には、早い時間帯で入場をいただき、退場は最後の最後まで残ってもらう形となったが、事前に協力依頼をしていたこともあり、参加者から不満が聞かれることはなかった。参加者のご理解とご協力に感謝を申しあげたい。

○手荷物をもったまま運営に従事しているスタッフもいた。事前に手荷物の預かりはしない旨を説明しているも、荷物預かりや配食、休憩スペースの保全など、係員のお世話をする係員を設けてもよかったかもしれない。

○札幌国際情報高校吹奏楽部のアトラクションがとてもよく、元気をもらえた。

このほか、全民児連との調整



や連携に関する反省点が多々あり、次回開催地である滋賀県民児協連に申し送りました。令和8年度第95回全国民生委員児童委員大会滋賀大会は、令和8年10月29日（木）・30日（金）びわ湖大津プリンスホテルで開催されます。

また、その次の令和9年には民生委員制度創設110周年を迎え、開催時期は未定ですが、有明ガーデン東京ガーデンシアターにおいて記念大会の開催が予定されております。道民児連としても、例年よりも大きな規模で北海道参加団を結成してまいりたいと考えておりますので、ご参加をご検討ください。

アンテナ道民児連 掲載写真募集



あなたの一枚を
アンテナ道民児連に
載せてみませんか！

アンテナ道民児連の表紙やページのカットに使用する写真を募集します。風景・行事・人・動物・植物など、題材は問いませんので奮ってご応募をお願いします。

なお、ご応募の中から選り抜きのうえ、採用させていただきますので掲載とならない場合もありますことを予めご承知おきください。



*応募先メールアドレス m.hasegawa@dominjiiren.or.jp

受章おめでとう ごぞいます

〔令和7年秋の褒章・叙勲〕

令和7年度、秋の褒章・叙勲で、受章された民生委員児童委員の方々をご紹介します。（敬称略）

●秋の褒章・叙勲受章者

褒章受章者

◇藍綬褒章

北山 武史（奈井江町 現）
橋本 敏雄（斜里町 現）

叙勲受章者

◇旭日双光章

齊藤 且（三笠市 現）
伊東 久子（上士幌町 元）

◇瑞宝双光章

日戸 宏治（小樽市 現）
黒川 誠二（小樽市 現）
中時 徹英（江別市 元）
谷内恵美子（三笠市 元）
宮本 正志（千歳市 元）
多田 敏雄（滝川市 元）

◇瑞宝単光章

鈴木 敏夫（釧路市 現）
能村 勝洋（利尻町 現）
菊地 信行（標茶町 現）
村中 輝實（深川市 元）
山本 進（蘭越町 元）
金子 佳子（七飯町 元）

謹んで初春のお慶びを申し上げます

昨年中は本連盟運営につきまして、格別のお力添えを賜り
厚くお礼申し上げます。

本年も誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、役職員と
もども努力してまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻のほど
よろしくお願い申し上げます。

令和八年 新春

公益財団法人 北海道民生委員児童委員連盟

会 長	佐 川	徹
副 会 長	梅 田	絹 子
	船 橋	優 子
	関 原	久 穂
常務理事	長谷川	稔
	他役職員一同	

道民児連役員等は、令和8年2月24日第2回地区・市支
部長会議の開催以降に一斉改選後の体制となる予定です。

エッセイ

ひとを
つなぐ

17 母と子と共にありたい

鳥居 一頼

暮らしが凍てつきます

何もかも辛抱が言葉に出ます

心が折れそうになる毎日です

悩みも苦しみもひとりで抱えます

まずは会ってお話しませんか

少しでも心の負担を軽くしたい

何か役に立てることを見つけたい

靴が小さくなりました

まだ履けるよと明るく答えます

心が痛くなる毎日です

子も我慢することに慣れていきます

知り合いにちよつと声をかけました

靴も服も本も譲っていただけそうです
もしよろしいかがですか

貧しさをからかわれます

いじめを訴えられませんか

心が締めつけられる毎日です

気丈に振る舞う子が不憫です

母を支える子は心根が真つ直ぐです

決して挫けないとまなざしで返します

素直でとても笑顔が美しい子です

主任児童委員の役目が問われます

地域で決して孤立させてはいけません

いたわりあう母と子と共にありたい

【筆者紹介】

鳥居 一頼(トリイ カズヨリ) 1949年生、登別市出身、北海道教育大卒。
道内で18年間教壇に立つ。道教委、道庁などに勤務後、室蘭・登別で小学校校長歴任。その後関西の私立大学の教授。
現在、登別市きずな大使として市社協の地域福祉実践計画推進を支援するかわら、地域福祉アドバイザーとしても活
動している。社会福祉法人北海道友愛福祉会理事。また道民児連が令和5年より設置した「民児協のあり方検討委員会」
の委員長を担われている。「民生委員児童委員のためのワークショップのすすめ」(道民児連2021年刊)の中で詩集「情緒
は私を支配する。論理よりも強く」が教材化され、初任者研修では詩をもちいた斬新な研修スタイルが評価されている。
主な著書に「子どもと学ぶボランティア」こつちよのボランティア授業論」(大阪ボランティア協会など)。